Ⅰ　青果情報

１　９月下旬～10 月中旬の経過

気　象

９月下旬は台風第 25 号・第 26 号の影響で、千葉県や九州北部地方などで記録的な大雨となった所があった。旬間日照時間は東日本で平年より少なかった。また、全国的に暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温は全国的に平年より高かった。

10 月に入ると、上旬・中旬とも移動性高気圧に覆われることが多く、晴れの日が多く、全国的に旬間日照時間は平年より多かった。そのため、旬降水量は低気圧からのびる寒冷前線が通過した影響で中旬に東日本日本海側で平年より多かった以外は全国的に平年並あるいは少なかった。また、冷涼な空気を伴った移動性高気圧が通過する日もあったが、それ以外は暖かい空気が流れ込みやすかったため、旬平均気温は全国的に平年より高かった。

野菜類

入荷量

「キャベツ類」「たまねぎ」「だいこん」を中心に入荷。

９月下旬～10 月上旬は天候不順による生育遅れ・数量不足となったが、中旬は天候回復により入荷増へと転じた品目が多かった。「だいこん」「にんじん」は生育順調。「きゅうり」は 10 月上旬まで東北産の入荷量減等により品薄となったが、中旬に関東産が回復し、入荷量は持ち直した。

野菜全体では、９月下旬から 10 月中旬までの入荷量は 106,754t（前年比 101.1%）と前年並であった。

相　場

10 月上旬までは品薄高となっていたが、中旬は高値疲れや入荷増から荷動きは鈍化し、相場も下がった。

「だいこん」は他品目と比べて値頃感があり、荷動きも堅調となった。「にんじん」は台風による船便遅延から入荷が集中することとなったため、単価安となった。

野菜全体では、９月下旬から 10 月中旬までの価格は 339 円/kg（前年比 110.0%）と前年をかなり上回った。

果実類

入荷量

「かき類」「みかん類」「りんご類」を中心に入荷。

「みかん類」は九州産の荷が中心で豊作となった前年よりも入荷量は少なかった。「りんご類」は不作だった前年と比べると数量があり、大玉傾向となった。「かき類」は出荷前進から早生品種の「刀根」から「平核無」への切替が早く進んだ。

果実全体では、９月下旬から 10 月中旬までの入荷量は 32,750t（前年比 105.6%）と前年をやや上回った。

相　場

販売金額は「ぶどう類」「かき類」「みかん類」の順に大きかった。

「みかん類」は高糖度品の割合が多く、レギュラー品が少なかったことから前年より高単価となったが、入荷量が少なくなったことから荷動きも良好であった。

果実全体では、９月下旬から 10 月中旬までの価格は 512 円/kg（前年比 96.2%）と前年をやや下回ったものの、野菜の高騰が消費に影響し、店頭での販売環境は厳しい状況。